

## 令和2年度地域創生総合支援事業(サポート事業)執行結果報告書(地域創生・市町村枠)

(単位:千円)

番号	新規・継続	分野	事業名	事業主体 (市町村)	事業区分 (ハード/ソフト)	事業費	補助金 決定額	事業概要	実施時期	実施場所 (市町村及び場所)	備考
(県中地方振興局)											
1	新規	観光振興	観光誘客事業 (こおりやま広域圏周遊スタンプラリー)	郡山市	ソフト	0	0	(観光誘客による人口減少の抑制) こおりやま広域圏内は、震災により人口減少がすすんでいる。このため、広域圏構成市町村の特色を活かしたスタンプラリーをテーマを決めて開催し、観光誘客を図るとともに、人口減少の抑制を図る。	R2.4.1～ R3.3.31	郡山市	R2.10.21付け 事業廃止
2	継続 3	人材育成	田村市いきいき田村元気塾運動サロン事業	田村市	ソフト	8,966	6,724	(人材育成による地域コミュニティの再生) 震災で地域コミュニティの機能が弱まり、高齢者が閉じこもりがちになり、運動機能や認知機能の低下した。このため、地域の運動サロンで住民を支援する健康サポーターの養成を行い、健康増進を図るとともに、運動サロンを市内全域に展開し、運動や交流の場を提供し、地域コミュニティの再生を図る。	R2.4.1～ R3.3.31	田村市	
3	継続 3	保健・福祉	天栄村ご当地体操生き生き元気推進事業	天栄村	ソフト	10,144	7,502	(ご当地体操による健康増進) 震災後高齢化が加速したため、高齢者がいきいきと暮らせるまちづくりのため、ご当地体操を取り入れた事業を住民自ら展開し、高齢者の健康増進を促進するとともに、高齢者自身が地域を牽引できるよう人材育成を行う。	R2.4.1～ R3.3.31	天栄村	
4	新規	観光振興	いしかわ版DMO組成事業	石川町	ソフト	1,288	953	(人材育成による交流人口の拡大) 石川町では震災以降、観光客が減少している。このため、幅広い関係者で連携する「いしかわ版DMO」の立ち上げを目指し、プロジェクトの企画や人材育成を行い、交流人口の拡大を図る。	R2.4.20～ R3.3.31	石川町	
5	新規	観光振興	玉川村(福島)と沖縄との中学生交流人材育成事業	玉川村	ソフト	0	0	(中学生の交流による風評払拭) 中学生が沖縄県を訪問し、地元の中学生交流しながら玉川村の現状をPRする。また、沖縄県の中学生を玉川村に受け入れ、さるなし等の玉川村の魅力をPRして風評払拭を図るとともに交流人口の拡大を促進する。	R2.4.1～ R2.10.31	玉川村	R2.10.29付け 事業廃止
6	新規	観光振興	城下町の特色を活かした観光PR強化事業	三春町	ソフト	15,030	10,000	(歴史的資源による通年型観光の確立) 震災以降、観光客が減少傾向であり、また、観光客の3割が滝桜関係である。このため、通年型観光の確立を目指し、続日本100名城に選ばれた三春城を中心とした歴史的資源を活かして観光PRを行い、交流人口の拡大を図る。	R2.4.3～ R3.1.29	三春町	
7	継続 3	教育・文化	地域創生「小野町まなびとふれあい」事業	小野町	ソフト	1,175	881	(交流や人材育成による地域活性化) 震災により地域の活力が低下したため、他地域との交流や次世代育成により、地域活性化を図るとともに、町の特産品を活かした6次化発酵食品を開発し、産業の活性化を図る。	R2.4.1～ R3.3.31	小野町	

## 令和2年度地域創生総合支援事業(サポート事業)執行結果報告書(地域創生・市町村枠)

( 単位:千円 )

番号	新規・継続	分野	事業名	事業主体 (市町村)	事業区分 (ハード/ソフト)	事業費	補助金 決定額	事業概要	実施時期	実施場所 (市町村及び場所)	備考
8	新規	観光振興	乙字ヶ滝公園憩いの空間創出事業	玉川村	ソフト・ハード	14,972	10,000	(観光・交流拠点の創出による観光振興及び地域活性化) 玉川村の乙字ヶ滝は日本の滝百選に選出され、景勝地として親しまれているが、震災の影響もあり、観光客の回復には至っていない。このため、乙字ヶ滝公園の雑木を整備して新たに交流空間を創出し、四季に応じたイベントを開催して震災の風評被害払拭を図るとともに、夜間の観光・交流拠点として、滝のライトアップや公園内に街路灯、ランタン等を設置することで広域な誘客と交流人口の拡大を促進する。	R2.12.14～ R3.3.31	玉川村	
累計			県中 8件			51,575	36,060				